

体指よこすか

VOL.13



平成23年12月1日 発行

発行責任者 横須賀市体育指導委員協議会 会長 武 雅兄

★★★★★藤沢市・横須賀市交流研修会★★★★★

◆気軽に始められるスポーツ◆

平成23年9月11日(日)、藤沢市秩父宮体育館・藤沢市民会館にて藤沢・横須賀両市の体育指導委員交流研修会が開催されました。まず実技研修が行われ、参加者は半数ずつに分かれて「バウンドテニス」・「ファミリーバドミントン」を交互に体験しました。

私は初めにファミリーバドミントン班に入り、ルール講習を受けました。簡単に説明があった後、やはり実際体験してみるのが良いとのことで早速ラケットを持ち3人編成でチームを作り、ラリーする練習から始めました。段々慣れてきたところで、いざ本番！やはり参加者たちは試合になると動きも変わり、本気モードで戦いました。前衛1人・後衛2人なので自分のコート内でのトスや息の合わせ方も重要です。

チーム内メンバーは藤沢・横須賀、混合で組みましたが、それこそが交流会の良い点で、初対面の方々でも、一緒に声を掛け合い、仲間意識が芽生えます。

時間を忘れてプレーしましたが、ここで種目交代。

次にバウンドテニスを体験しました。こちらも個人的には初の経験です。コートは小さいですが、やはりそこは「テニス」と言うことはあり、ラケットにボールを上手く当てるのも初めは強すぎたり弱すぎたり。但しこちらの種目も、コートを掴むとコーナーを狙ってレシーブを打てたり、サービスエースを取れたりして快感を味わえました！

どちらの種目も楽しいスポーツです。何試合かプレーしましたが、最後には汗だく！お子さんや、女性でも参加しやすい競技ではないでしょうか。横須賀市ではソフトバレーボールにも力をいれていますが、地区によってはこれらの競技を実施している所もありますので、皆さんも参加してみてもどうですか？



熱い試合で盛り上がったファミリーバドミントン!!!

◆和気あいの情報交換会◆

実技研修のあとは場所を藤沢市民会館「まつの間」に移し、情報交換会が開かれました。藤沢市会長・横須賀市会長の挨拶があり、各部のメンバーなどが紹介されました。

当日は残暑厳しく、体を動かした後だったので、昼食会では喉の渇きを潤し、カラオケ機材も用意して頂いたので、皆さんの歌声で大変盛り上がりしました。

横須賀とも近い街であり、中には横須賀出身の方達もいらっしゃいました。湘南の風を感じながら生活している藤沢市のみなさんは、イキイキとして笑顔が絶えない素晴らしい指導委員でした。これからも友好関係を築いて行きたいと思います。

広報部長 原 暁彦(長浦学区)

「学区対抗成人球技大会」

9月4日(日)、横須賀市教育委員会主催の第51回「学区対抗成人バレーボール大会」が北体育会館と南体育会館で開催されました。

27学区によるブロックごとの大会となり、優勝はAブロックが鴨居学区、Bブロックが田浦学区、Cブロックが森崎学区、Dブロックが武山学区、Eブロックが岩戸学区に決まり、それぞれ、賞状・楯・賞品を獲得しました。

南体育会館での一こま。当日南体育会館は、参加申し込み18チームでしたが2チームが棄権し、16チームによる3ブロックリーグ戦で行われました。棄権2チームは同じブロック内の棄権により某学区は1回戦、2回戦とも不戦勝とのラッキーな珍しい一幕のあった大会となりました。

参加16チームの皆さんの熱気あふれるプレーと若さあふれるファイトは、主管体指協議会の関係者も元気ももらい、楽しい一日を過ごした次第です。 **バレーボール記事・写真 広報部副部長 押井 秀夫 (鷹取学区)**



優勝してハイポーズ!



ソフトボールの選手宣誓!

ソフトボール大会の各ブロック優勝チームは、

A・池上 B・北下浦 C・追浜 D・栗田 E・明浜 の各学区です。おめでとうございます!!!

ソフトボール写真 広報部副部長 金森 由香里 (追浜学区)

広報部より



横須賀市体育指導委員ホームページは、もうご覧になりましたか?

現在、石川副会長により管理されていますが、皆様のお近くにお手伝いして頂ける方はいらっしゃいませんか? 学区などは問いません。パソコンに精通されている方は歓迎です。詳しくは広報部または石川副会長までお願いします。

横須賀市体育指導委員ホームページ

<http://sukataishi.jp/>

体指よこすかのバックナンバーもご覧になれます。

今後の予定

- | | |
|-------|-----------------------|
| 1月15日 | 三浦半島県下駅伝競走大会 |
| 21日 | 体育指導委員スポーツ大会
新年懇親会 |
| 2月5日 | 神奈川県体育指導委員大会 |
| 19日 | 新体力テスト測定員講習会② |

2月には、県大会が横須賀市で開催されます。事業部・総務部・広報部、すべての力を合わせて盛り上がるイベントとして成功する様、指導委員皆様のご協力お願いいたします。

よこすか スポーツフェスタ 2011!

平成23年10月10日（体育の日・祝日）に、市内の体育施設で行われる「よこすかスポーツフェスタ」が今年も開催されました。前日の荒天から一転、恵まれた天気で、各体育施設では様々なイベントが繰り広げられました。13も会場があり、どこへ参加しようか迷うほどです。もちろん参加費無料です。普段なかなか体験できないスポーツもたくさんありました。新体力テストの講習会を受けた指導委員の方達も多かったと思います。西体育会館で繰り広げられた「ソフトバレーボール大会」は、でこぼこフレンズ1・でこぼこフレンズ2・チームまるまる・Wing Dingの各チームがブロック優勝しました。おめでとうございます。不入斗公園陸上競技場では50メートル走、100メートル走、走り幅跳び、ハンドボール・ソフトボール投げ計測が行われ、日頃あまり運動しないお父さんお母さん方もお子さんと一緒に心地良い汗を流していらっしゃいました。次の日は身体の痛みに出勤や家事にご苦労なされたことでしょう（笑）。



他の施設でも、体操やボクシング、フォークダンスまであり、浦賀ボートパークではアスパイア体験クルーズが開かれました。海の街よこすからしい催し物です。

10月1日～16日は「県民スポーツ週間」であり、10日は体育の日でしたので、今一度健康を考えてこれからも特別な催しではなく、日頃から「スポーツ」という言葉にこだわらず、「身体を動かす」という事を意識して生活の中に取り入れてみてはいかがでしょうか。

来年の体育の日にも気持ち良くのびのび動きまわりたいものです。

広報部員 大貫 和雄（豊島学区）

第52回全国スポーツ推進委員研究協議会(東京大会)

平成23年11月10日(木)～11日(金)全国より3,937名の体育指導委員・事務局が東京千駄ヶ谷の東京体育館に会し、全国スポーツ推進委員研究協議会(東京大会)が行われました。横須賀市からは13名が2日間に亘る研究協議に参加しました。テーマは、「スポーツの力で日本を元気に」サブテーマを～実りある生涯スポーツ社会を全国の仲間と創ろう～でした。

今後のスポーツ振興は、スポーツの持つ多様な意義や価値が広く共有され、互いに支え合い、さらに多くの人々が様々な形でスポーツに積極的に参画できる環境を実現していくことが大切で、推進委員は見識を広め、自らの変革への意識を高めていくことが求められます。

公益財団法人日本体育協会会長 張 富士夫 氏による「スポーツ界の新しい‘つながり’を目指して」～「カイゼン」の極意から～と題して講演がありました。講師である張氏は、本年4月に財団法人日本体育協会会長に就任されました。幼少の頃よりスポーツに親しみ東京大学時代は剣道部の主将を務めるなどスポーツ実践の経験が豊かであります。特に氏は、「トヨタ」をグローバル企業に育てたリーダーとしても著名で、その経営理念として有名な「カイゼン」つまり、問題や課題に気づき都度直すという取組でさまざまなエピソードを交えながら話され、今後のスポーツ界においてどのような「カイゼン」を行っていかれるか期待するところです。次に「地域が支えるスポーツ文化におけるスポーツ推進委員の役割」と題してのシンポジウムが開かれ、スポーツ推進委員の活動の場である「地域」をキーワードに、その捉え方、特徴及び資源の発掘について、異分野の視点から「地域」と「スポーツ」の新たな関係について考え、その関係を築く上でのスポーツ推進委員が果たすべき役割について講師によるディスカッションが行われました。

◆コーディネーター 野川 春夫 氏

◆シンポジスト 原田 宗彦 氏・宮嶋 泰子 氏・鳥塚 亮 氏

2日目は東京大学安田講堂で「スポーツ推進委員のコーディネート力(リカ)を活かそう」～がんばろう日本!復興に向けてスポーツ推進委員だからできること～のテーマで開催された第2分科会に参加しました。

スポーツ推進委員の役割は、時代の変化、要請によって大きく変わりつつあり、現在では、スポーツ指導者としての顔と同時に、地域住民と行政・地域団体とを橋渡しするコーディネート機能が重視されます。

本分科会においては、さまざまなスポーツ推進委員のコーディネート事例(今回は復興に関わった事例)を通じ、地域課題を的確に捉え、分析し、スポーツ推進委員自らが積極的にコーディネートし、スポーツの力で地域を元気にするための方策について真剣に討議されました。

◆コーディネーター 黒須 充 氏

◆発表者

◎兵庫県南部地震被災地区におけるスポーツ推進委員の取組(兵庫県)

小山 友一 氏(兵庫県体育指導委員会 会長)

◎東北地方太平洋沖地震被災地区においてスポーツ推進委員が目指すもの(岩手県)

伊東 まさ 氏(岩手県体育指導委員協議会 会長)

◎被災地及び被災者が求めるスポーツ活動～災害ボランティア活動を通じて～

君嶋 福芳 氏(栃木県さくら市総務部企画政策課 課長補佐)

今大会での横須賀市受賞者(敬称略)

スポーツ推進委員功労者表彰 村上 清志(高坂学区)

30年勤続表彰 伊藤 洋明(田戸学区) 新垣 力(追浜学区) 村上 清志(高坂学区)

一般賛助会員表彰 山田 昭子(栗田学区)

3・11の未曾有の震災を通して我々体育指導委員は、何をすべきか何ができるかが再度確認させられる大会でもあった。特に私が参加した第2分科会は、その色が濃く伊東会長が最後に話された言葉に、人(人脈)・意識(コーディネート能力)＝行動の大切さを今後の私の指針として協議会活動に生かして行きたいと思います。

副会長 石川 輝雄(森崎学区)

編集後記

今年も残り僅かとなりました。平成23年は日本にとって忘れる事の出来ない年でしたが、今我々が生かされていることが重要であり、これから皆が出来ることを未来に向けて切り拓きましょう!!!

広報部長 原 暁彦(長浦学区)